

山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	673000618
法人名	合資会社 すぎやま
事業所名	グループホームやまぼうし
訪問調査日	平成 19 年 6 月 11 日
評価確定日	平成 19 年 8 月 10 日
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月25日

【評価実施概要】

事業所番号	673000618
法人名	合資会社 すぎやま
事業所名	グループホームやまぼうし
所在地 (電話番号)	山形県鶴岡市羽黒町荒川谷地堰42-1 (電話) 0235-78-0610

評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会		
所在地	山形県山形市松波四丁目1番15号		
訪問調査日	平成19年6月11日	評価確定日	平成19年8月10日

【情報提供票より】(平成19年4月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年8月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	10 人、非常勤 4 人、常勤換算 10.15 人

(2) 建物概要

建物形態	併設／○単独	○新築／改築
建物構造	木造1階建GL銅板葺き 造り	
	1階建ての	階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	1,000/日 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円)	○無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	○有(100,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有／○無
食材料費	朝食	230 円	昼食 350 円
	夕食	300 円	おやつ 120 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(4月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名		
要介護3	6 名	要介護4	7 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 79.5歳、81.3歳	最低	66 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐藤医院(内科)、毛呂歯科医院(歯科)
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

玄関先の花壇や畑、青々とした芝生に加え、シンボルツリーでもある「やまぼうし」の木にも花が咲く自然環境の中で「のんびり、ゆったり、心豊かで円満に」をモットーにしながら、職員と利用者が家族同様に安心できる暮らしの支援を続けてきているホームです。
また、豊かな自然に育まれた農村地帯にありながらも、公共施設、消防署、体育館、テニスコートなどがホームの窓からも目に入り、人々が生き生きと活動している様子が身近に感じられる、社会との繋がりを日々実感できるホームです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 感染症対策について地域の発生状況等の情報収集、手洗い、うがい、マスクの着装などを実施しながら記録に残しており、それらを積み重ねたマニュアルを作成した。また、日頃から感染症の早期発見、早期治療についても心がけたことや食器洗浄機を導入したこともあり、風邪やノロウイルス感染症に罹った人も無く、健康で過ごすことができた。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 代表者、管理者、職員は自己評価及び外部評価の内容を理解し、三者で意見を出し合い、改善に向けて取り組んでいる。今年度は昨年に引き続き、排泄支援によるオムツはずしに力を入れている。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 民生委員、社会福祉協議会、行政担当者、家族が出席する運営推進会議を2ヶ月毎に開催しており、ホームの活動や外部評価結果を報告し、率直な意見やアイデアを出してもらっている。また、認知症キャラバンメイト研修の伝達を行ったところ好評であった。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の意見や苦情は、面会時やケアマネジャーの家庭訪問時にも把握してケアに反映させており、ホームの玄関には家族等が感想や意見を入れられるポストも設置されている。また、意見や苦情があった場合は、外部関係者の意見も聞きながら検討している。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 新年の八幡神社の獅子舞から始まり、演芸祭、保育園行事、幼稚園の運動会など地域の年中行事に参加したり、招待されたしている。見学者、中学生の職場体験、ボランティア、介護相談員の受入れなど、地元の人達との交流が年々盛んになってきている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の区長会、市職員、社会福祉協議会等と交流し、地域の中の一員として暮らし続けていけるような理念を掲げ実践している。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内に運営理念を掲示し、管理者と職員はそれを共通理解し、理念の実現に励んでいる。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	新年の八幡神社の獅子舞から始まり、演芸祭、保育園行事、幼稚園の運動会など地域の年中行事に参加したり、招待されたしている。見学者、中学生の職場体験、ボランティア、介護相談員の受入れなど、地元の人達との交流が年々盛んになってきている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	代表者、管理者、職員は自己評価及び外部評価の内容を理解し、三者で意見を出し合い、改善に向けて取り組んでいる。今年度は昨年に引き続き、排泄支援によるオムツはずしに力を入れている。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員、社会福祉協議会、行政担当者、家族が出席する運営推進会議を2ヶ月毎に開催しており、ホームの活動や外部評価結果を報告し、率直な意見やアイデアを出してもらっている。また、認知症キャラバンメイト研修の伝達を行ったところ好評であった。		

山形県 グループホームやまぼうし(鶴岡市)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	市の包括支援センターや分庁舎(羽黒庁舎)に相談や連携に出向き、利用者のサービス向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	家族には毎月「今月の様子」を送っており、ホームでの暮らしぶりや健康状態、金銭出納ノートの写しなどを中心に個別に担当職員が手書き報告している。また、担当職員の変更があった場合はその都度、家族にお知らせしている。		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	家族の意見や苦情は、面会時やケアマネジャーの家庭訪問時にも把握してケアに反映させており、ホームの玄関には家族等が感想や意見を入れられるポストも設置されている。また、意見や苦情があった場合は、外部関係者の意見も聞きながら検討している。		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	ユニット間の職員異動がある場合は、引継ぎに数日間の時間をかけながら交代し、職員の異動が利用者にダメージを与えないようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	職員の希望も採り入れながら、それぞれの段階に応じた研修の機会を確保している。また、社会福祉主事の資格取得に取り組んでいる職員もいる。		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	年に4回程度行われる市の事業者部会や県のグループホーム協会に参加しており、同業者との交流の機会を作り、他のグループホームとのネットワーク作りを通じた交流を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○馴染みながらのサービス 利用本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として教えてもらうことも多く、利用者と心を通い合わせながら過ごし、共に支えあっている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の暮らしの中で希望や意向を根気よく聞き出して「利用者がしたいこと」の把握に努めており、家族や主治医、在宅生活を送っていた頃のケアマネジャー、ホームヘルパーなどがもっている情報も取り入れるようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族、職員全員で介護計画を立案し、その人らしく暮せるように個別・具体的な計画となっている。また、家族や主治医、地域の民生委員、市の保健師等で構成されるサービス担当者会議を開き、その内容を介護計画にも活かしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	管理日誌に気づきを記録しており、定期的(3ヶ月毎)な確認の際に新鮮な目で見直し、「出来そうなこと」を介護計画に取り入れている。		

山形県 グループホームやまぼうし(鶴岡市)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	かかりつけ医への通院は家族の付き添いで行われてい るが、血圧等の記録はファクスで医療機関に連絡し、 適切な医療に結びつけられるようにしている。また、家 族が遠方にいる場合は、協力医療機関につなげる支 援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	重度化、重症化した場合の家族や本人の希望を利用 開始時に確認しており、かかりつけ医や協力医療機関 とその対応を協議している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをし ていない	一人ひとりの尊厳を尊重し、利用者の立場に立って、 プライバシーの保護に最善の努力をしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の業務スケジュールを強制せず、在宅にいた頃の 習慣やその日のペースに合わせた食事支援や入浴支 援を個別に行っている。		

山形県 グループホームやまぼうし(鶴岡市)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理、配膳、食器洗い等それぞれの得意分野を活かし、分担しながら一連の作業を楽しみながら行っている。また、かかりつけ医の指示を受け、食事量の調節や献立の選択ができるようにしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望や体調に合わせて入浴支援し、一日の中の楽しみの一つになっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	気晴らしと張り合いのある生活提供を兼ね、テニスの素振りや畑仕事をしてもらい、一人ひとりに合った支援を行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	老人福祉センターのミニデイサービス、買い物、花見、公園等に出かけたり、ホームの前庭でのお茶飲みなど、それぞれの希望に添って個別に支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	玄関や窓は施錠しておらず、ホームに自由に出入りができる。また、建物の構造上、人の出入りが分かりやすいため、安全面に配慮した職員の対応も可能である。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	日頃から消防署の立会いで消火訓練、避難訓練を行っており、また、地域の人々の協力が得られるように、区長会や消防団との連携のための話し合いも行われている。		

山形県 グループホームやまぼうし(鶴岡市)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各利用者の飲み込む力や嗜好を考慮した個別対応を行っており、一日を通じた栄養摂取量や水分摂取量も把握されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地のよい環境づくりを心がけており、自然の風や光を十分に感じられるよう配慮されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には馴染みの物を持ち込んでいるが、家族が持たせても、本人がしまい込んでしまったり、隠したりする場合もあるため、必要最低限の物しか置かれていない居室もある。また、ドアの暖簾や下げ物は防災上の観点から、消防署の指導ではずしているが、混乱も無く暮らしている。		